



模擬国連定例大会 2022年冬会議

PPP 作成及び提出について

2022年11月30日
模擬国連定例大会 事務局

今大会では提出フォームを通じての PPP 提出になります。以下をよく読み、期限以内に誤りのないようにお送り下さい。

<Position Policy Paper (PPP) とは>

PPP とは、議題解説書 (BG) で得た知識をもとに、自国に関する情報を整理し、担当国と政策を立てる手助けをするためのものです。

冬会議はエッセイ形式の PPP が定番となっています。各大使が自分自身で情報を精査、取捨選択しながら、本質的な政策をじっくり議論するとともに、どのようにまとめ、伝えるのかという文章表現トレーニングを目的としているためです。

なお、PPP 作成は会議参加をするにあたって大使が果たすべき義務の 1 つです。会議参加をする以上、必ず提出をしてください。

<提出方法について>

- ・別紙の PPP 提出用紙に必要事項を入力し、ワードの PPP を添付してください。
- ・どうしてもワードで PPP 提出ができない場合に限り、Google Document のリンクを共有する方法を許可いたします。その場合は以下の事務局のメールに直接ご連絡ください。 mun@otsuma.ed.jp
- ・ファイル名を「PPP_国番号_国名 (英語)」とすること。PPP フォームの名前を自国の情報に直して提出してください。(例： PPP_D49_Nepal)

<提出期限>

PPP 提出期間： 12月18日(日)～12月21日(水) 21時59分59秒 時間厳守

指定のフォームから提出してください：

<https://ws.formzu.net/dist/S16578878/>



- ・提出時刻を過ぎるとフォームが自動的に閉鎖されます。
- ・期限後の提出は、1秒の遅れであっても全て受理いたしません。PCの不調やネットトラブル、アドレスの入力ミス等の理由も考慮いたしません。
- ・締め切り間際はネットが混雑する可能性があります。時間に余裕を持った提出をお願いいたします。

作成に関する注意

- 1 文頭や文末に議場に対する挨拶や交渉に関するメッセージが記載されていたものがしばしば見られます。PPPは立場や政策のまとめであり、交渉手段やメッセージ発信ではありません。その観点から、そのような記載をしないように気を付けてください。仮にフロントが抵触すると判断したものは断りなく削除させていただきます。例えば、「～と協力したい」という一般的な表現は国際協力に関する政策・方針として受け取れますが、「～と話したい、議論したい、一緒にDRを作りたい」というような表現で当日の会議行動に触れたものは交渉に関するメッセージになりうるため削除対象になります。「こんにちは、よろしくお願いします、充実した会議にしましょう」などの文頭や文末の挨拶も避けてください。
- 2 PPP提出用紙のフォントの種類、サイズ、形式は変更しないでください。色付け、下線部、太字の使用もできません。自国の立場や政策をまとめた小論文として、箇条書き等も控え、文章で作成してください。ですます調、である調については問いませんので、書きやすいほうで仕上げてください。
- 3 原則提出は1か国1回としてください。再提出された場合は、最新のものを反映させるように努めますが、作業が煩雑であり、本来は資料をこちらが差し替える義務はないため、仮に最新のものがまとめに反映されていなくても掲載内容の訂正は受け付けいたしかねます。
- 4 原則的に、ボトムライン（妥協しても良いライン）を示すことは交渉で不利となります。特段の戦略的意図が無い限り、トップライン（自国にとって100点満点の政策や会議成果）だけを記載し、ボトムラインは記載しないようにしてください。仮にボトムラインが記載されていても、そのまま掲載いたします。
- 5 PPPの書式、内容、提出方法など、指示通りにできていないもの、体裁が整っていないものは不受理とします。PPPの受理・不受理については時にフロントと大使が揉めることがあります。不受理の判断は顧問の先生の指示に従い公平にいたします。不受理とならないように各大使の方が責任をもって提出をしてください。

以下の指示に従い、設問の回答を PPP 提出用紙に記述し、提出してください

<政策提案>

こちらの政策提案は各国大使に共有するものです。以下の設問に対する回答を含む形で、担当国としてのスタンスを枠内に日本語の場合 1200 字以内で論じてください。一般議場参加の場合は英語で回答しても構いません。(英語の場合 750 words 以内)

設問

①自国の食料全保障に関する状況や課題について述べよ。

(目安：日本語の場合 400 字、英語の場合 250 words)

②自国の提案する政策や改善策のトップラインと自国の最も重視する論点を述べよ。

(目安：日本語の場合 800 字、英語の場合 500 words)

※ ①、②を分けて論じても、一緒に論じても構いません。いずれの形でも全ての回答を合計して上記の 1200 字もしくは 750words 以内とします。各項目の字数はあくまでも目安であり、厳密に守る必要はありません。

※ 上記文字数を超えた場合、文の途中であってもそこまでの掲載とさせていただきます。Word の字数カウント機能で判断をいたします。

<参考文献>

主な参考文献を載せてください(書式は問いませんが、PPP 作成の research に使った資料が分かるようにして下さい)。共有は致しません。

リサーチのヒント

特に初心者の方は、以下のような観点からリサーチを進めてみましょう。

<現状>

- ・担当国の食糧安全保障や飢餓の現状、食料安全保障との関わり、国際社会からの評価。
- ・担当国の食料安全保障に関する国際機関などの加盟状況。

<論点の整理>

- ・今会議で担当国にとって重要な論点は何か。それはなぜか。

<時間軸と課題の整理>

- ・短期：即時解決すべき課題は何か。（即時対応）
- ・中期：課題を解決するために整備・構築すべき法や社会、環境は何か。
- ・長期：持続可能な課題解決のために変容を求めるマインド、意識は何か。

<国際社会の協力>

- ・課題解決を実行するためにはなぜ、どのような国際協力が必要か。

<国益と国際益の整理>

- ・今回における担当国の国益や立場は何か。
- ・国際社会全体が今会議で目指すべき最低限の会議成果は何か。

<政策の整理>

- ・担当国として訴える政策のトップラインとボトムラインは何か。
※トップライン（100点満点の理想）、ボトムライン（国益が守れる最低限のライン）
- ・訴える政策に対して予想される国際社会の声や反論は何か。
- ・どのような国がその政策を支持し、どのような国が反対すると予想するか。
- ・政策の合わないグループとの相違点は何か。
- ・今回訴える政策がなぜ国際社会の利益になるのか。